

宗谷医療圏域における医師確保のための要望意見書

北海道における医師不足と医療格差は深刻な地域問題になっています。

とりわけ、宗谷医療圏の医師数は、全国一低く、地域センター病院である市立稚内病院をはじめ、宗谷各町村の病院・診療所の安定的医師確保は喫緊の課題となっています。

この事態を放置するならば、宗谷医療圏の人口減少と医療格差はさらに進み、旭川や札幌での入院治療を余儀なくされる「治療難民」、診療や介護を控える「医療難民」や「介護難民」が生まれることは明らかです。

この問題を解決するための基本は、政府の医療・社会保障を切り捨てる政策を転換すると同時に、全国一低い宗谷医療圏の医師数の改善のための「緊急措置」を北海道として講ずることだと考えます。現在、北海道の「地域医療計画」を作成中ですが、この医師不足問題をしっかりと検討し、改善のための新しい提案が求められています。

よって、北海道におかれましては、宗谷医療圏の深刻な医師不足を解決し、北海道の地域医療格差の危機を立て直すため、下記事項を実現するよう強く要望します。

記

1. 北海道として、医師不足に苦しむ住民の要望を聞くため「医療要望懇談会」（仮称）を市町村ごとに開催すること。
2. 北海道として懇談会の内容を公開し、医師養成や医師確保に関する年次別改善目標を作成すること。
3. 北海道として、1と2を可能にする政府の支援措置を要請すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成31年3月15日

北海道豊富町議会
議長 河田 誠 一

(提出先) 北海道議会議長、北海道知事